

知多市長記者会見次第

日 時 令和2年10月7日(水)

午前10時

場 所 協議会室

市長あいさつ

1 感染症に対応した市総合防災訓練を実施します ……………【資料1】

2 ご案内

知多木綿 綿打ち実演講習会……………【資料2】

江戸時代の古文書「送り一札」の調査研究をまとめた資料集を発売 ……………【資料3】

高齢者低栄養予防事業「知多市栄養パトロール」……………【資料4】

※ 次回記者会見の開催予定日時 11月6日(金)午前10時から

感染症に対応した市総合防災訓練を実施します

大地震や台風接近に伴う大雨などによる各種災害が発生した際に、感染防止策を講じつつ、災害対策本部の運用や、感染症に対応した避難所の開設・運営ができるよう、市総合防災訓練を実施します。

1 実施日

11月1日(日) 午前9時～11時

2 会場

知多市役所、佐布里小学校

3 想定

○10月27日(火)：午前5時に南海トラフを震源とする地震(M7.9)が発生

知多市は震度6強、最高津波高は3.1mを観測 多くの人的被害、住家被害が発生

○11月1日(日)：多数の被災者が避難生活をし、感染症の流行や避難の長期化による体調不良が懸念される。

台風接近に伴う大雨により、土砂災害の危険も予想される。

4 内容

①本部員会議訓練(知多市役所9:00～9:30、発災5日目を想定)

市職員 約40人参加

被害状況、応急対策の確認、関係機関への要請事項決定など

②災害対策本部運用訓練(知多市役所9:30～11:00、発災5日目を想定)

市職員 約50人参加

本部員会議訓練を踏まえた災害対策本部運用に関する図上訓練など

③感染症に対応した避難所開設運営訓練

(佐布里小学校9:00～11:00、発災直後を想定)

市職員、地元コミュニティ、ボランティアなど 約50人参加

感染症に対応した避難所の開設・運営、保健所との情報連携など



▲避難所開設運営訓練の例

知多木綿 綿打ち実演講習会

概要

「綿打ち」とは、種を取り除いた後の綿をやわらかくほぐし、不純物を取り除く作業のことです。

この講習会では、講師の丹羽正行さんから、綿の種類や、木綿についての話を交えながら、収穫した綿を繊維と種に分ける「綿繰り」、綿を柔らかくする「綿打ち」、綿打ちをした綿を糸にする「糸紡ぎ」の実演をしてもらいます。

PRポイント

講師である丹羽正行さんは、平成25年にもものづくり日本大賞・内閣総理大臣賞「現代の名工」を受賞された方で、今ではあつかえる人が少なくなった唐弓とうゆみを使った綿打ちを見ていただくことができます。



▲綿打ちの様子

日時 10月10日(土) 午前10時～正午(雨天の場合は中止)

会場 知多市歴史民俗博物館 中庭

講師 古式唐弓綿打ち保存会会長 丹羽 正行氏

参加費 無料

江戸時代の古文書「送り一札」の調査研究をまとめた資料集を発売

概要

江戸時代の古文書「送り一札（おくりいっさつ）」を調査研究し、解説した文化財資料集を発売します。

「送り一札」は「送り状」とも呼ばれ、村から村へ人が移り住む際に、異動元の村の庄屋から異動先の村の庄屋へ発行された、今でいう「住民異動通知」のことです。

PRポイント

「送り一札」からは、当時の社会制度や村同士の付き合いの様子、女性の婚姻年齢など郷土に生きた祖先の暮らしぶりを垣間見ることができます。

また、江戸時代後期の知多半島の女性の名前約2,200件を抽出し考察した付録からは、当時の女性の名前の傾向を知ることができます。



▲新発売の文化財資料集

発行	知多市教育委員会	仕様	A4版 95ページ（目次・口絵写真集除く）
発売開始日	11月1日（日）	販売場所	歴史民俗博物館
価格	1,500円（税込み）		
内容	「佐布里村文書」「寺本村文書」の目録・解説文・考察に加え、調査報告として「江戸時代後期 知多半島における庶民女性の名前」を収録しています。		

高齢者低栄養予防事業「知多市栄養パトロール」

概 要

市内に住む65歳～80歳のうち、令和元年度に知多市が実施する健康診査を受診した方で、低栄養のリスクがあると判断された方に対して、管理栄養士及び保健師等が個別に訪問し、一人ひとりに合わせた食生活を一緒に考え、健康を支援します。



PRポイント

低栄養にある高齢者を個別に複数回訪問し、一緒に毎日の食事内容を見直すことで、低栄養を予防・改善し、いつまでも健康でいきいきと過ごすことができるように支援します。

開始日 11月から（一人当たり最大で4回訪問を予定）

対象 市内に住む65歳～80歳のうち、知多市が実施する健康診査を受診し、低栄養のリスクがある方（要支援・要介護認定を受けている方などを除く）。対象者には健康推進課から案内を送付します。
今年度は対象者の多い旭南地区（対象者は26名）で実施し、徐々に市内全域へと拡大していく予定です。

その他 健康推進課では栄養を含めた健康相談を随時受け付けています。